

## 様式第2号(第7条関係)

## 会議の開催結果

1 会議の名称	第1回 さいたま市国民健康保険運営協議会
2 会議の開催日時	令和4年8月18日(木)
3 会議の開催場所	プリムローズ有朋 カトレア
4 出席者名	柴田潤一郎会長、志賀信子副会長、星野純子副会長、 大熊俊夫委員、田中恒一委員、齋木裕二委員、 高本正広委員、須賀久恵委員、大室里美委員、 志村文夫委員、瀧本久夫委員、菊池文彦委員、 佐藤郁恵委員、三次宣夫委員、若林チヒロ委員、 野口良輝委員
5 欠席者名	飯盛恵美委員、中村靖幸委員、中村勉委員、 塩屋雄史委員、塩野英昭委員、阿部泰子委員、 野田政充委員、島田玲子委員
6 議題及び公開又は 非公開の別	(議題) (1) 国民健康保険運営協議会について (2) 令和3年度の国民健康保険事業の決算見込 について
7 非公開の理由	—
8 傍聴者の数	なし
9 審議した内容	(1) 国民健康保険運営協議会について (2) 令和3年度の国民健康保険事業の決算見込 について
10 問合せ先	保健福祉局 福祉部 国民健康保険課 電話番号 048-829-1276 (直通)
11 その他	—

# 令和4年度第1回さいたま市国民健康保険運営協議会議事録

日時 令和4年8月18日(木)  
午後2時15分～3時30分  
場所 プリムローズ有朋 カトレア

## 1 出席者

(委員) 柴田 潤一郎、志賀 信子、星野 純子、大熊 俊夫、田中 恒一、  
齋木 裕二、高本 正広、須賀 久恵、大室 里美、志村 文夫、  
瀧本 久夫、菊池 文彦、佐藤 郁恵、三次 宣夫、若林 チヒロ、  
野口 良輝

(事務局) 細沼保健福祉局長、永島保健福祉局理事兼福祉部長

(収納対策課)

小林財政局税務部参事兼収納対策課長、  
神田収納対策課長補佐兼収納対策係長

(国民健康保険課)

田中課長、苗村主幹、澁谷課長補佐兼保健事業係長、坂西国保事業係長、  
岩瀬レセプト給付係長、角脇主査、小澤主任、新井(麻)主任、  
伊藤(舞)主事、伊藤(ゆ)主事

## 2 欠席者

(委員) 飯盛 恵美、中村 靖幸、中村 勉、塩屋 雄史、塩野 英昭、  
阿部 泰子、野田 政充、島田 玲子

## 3 会議次第

(1) 開会

(2) 事務局代表あいさつ

(3) 協議・報告事項

① 国民健康保険運営協議会について

② 令和3年度の国民健康保険事業の決算見込について

③ その他

(4) 閉会

柴田会長：	<p>それでは、次第「3 協議・報告事項」に移らせていただきます。本日の協議会については、原則公開としておりますが、本日の協議会も公開とすることよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（「よい」という旨の発言あり）</p> <p>事務局に伺いますが、本日の傍聴人はいらっしゃいますか。</p>
事務局：	<p>ございません。</p>
柴田会長：	<p>本協議会につきましては、毎回、議事録を作成していますので、あらかじめ議事録署名人をお願いしておきたいと思います。</p> <p>田中恒一委員と三次宣夫委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、お手元の次第に従いまして議事を進めさせていただきます。まず、協議・報告事項としまして「(1) 国民健康保険運営協議会について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局：	<p style="text-align: center;">（事務局説明）</p>
柴田会長	<p>ただいまの事務局の説明に対して、何かご質問はありますか。</p> <p>特に無いようですので、また予定より早く進んでいますので、休憩は後ほどにし、このまま「(2) 令和3年度の国民健康保険決算見込について」を進めたいと思います。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局：	<p style="text-align: center;">（事務局 国民健康保険課 説明）</p> <p style="text-align: center;">(P14 9 解消・削減すべき赤字額の内容まで)</p>
柴田会長：	<p>議題の途中ですが、この後、担当課が変わりますので、ここで切</p>

<p>高本委員：</p>	<p>りたいと思います。ここまでの事務局の説明に対して、何かご質問はありますか。</p> <p>ありがとうございました。質問させていただきます。先程の資料の 11 ページの 1 人当たりの医療費の推移というところで、被保険者数が下がって、保険給付費が上がっているということですが、上昇傾向が今後も続いていくということで、あまり財政的にはよろしくないのかなという感じですが、この要因はですね、経済規模が大きいほど 1 人の負担が減るという逆の現象があるかと思いますが、たとえば医療費が増えてきて高くなっているとかあるいは高額医療が増えてきてとか、何かいろいろ要因があるのかもれませんが、その辺り分析されているのであれば教えていただければと思います。</p>
<p>柴田会長：</p>	<p>事務局 お答え大丈夫でしょうか、お願いします。</p>
<p>事務局：</p>	<p>1 人当たり医療費が高くなっている理由ですが、まず国民健康保険に加入の方の年代というのがございます。さいたま市の国民健康保険加入の半分以上が 60 歳以上になっております。若い方は被用者保険にどんどん加入しており、国保は 60 歳以上の定年退職された方々の比率が上がっているということが一つ。</p> <p>あとは 1 人当たり医療費の年代別で、若い方はそんなに医療にかからないのでそんなにお金はかかりませんが、年代が上がっていくにつれて 1 人当たり医療費、医療にかかるお金というのは非常に高くなっていくということで、高齢者が多ければ多いほど 1 人当たり医療費が高くなっております。</p> <p>あと、もう一つは、医療の高額化です。実際に医療がどんどん進化していった医療費そのものが非常に高いことがございます。また、平成 27 年度の時に肝炎のお薬の話があったかと思いますが、C 型肝炎の治療薬が非常に高かったり、新薬が出てきた時は高</p>

	<p>く、その辺りで1人当たり医療費が高くなっているということがあります。</p>
高本委員：	<p>明快な説明わかりました。ありがとうございました。</p>
柴田会長：	<p>はい、今の医療費、年齢別の医療費のグラフがあるとちょうどよかったのかもしれませんが、大雑把にいうと20代と80代の人を比べると医療費は10倍違います。ですから20代から80代に向かって10倍に上がっていくというふうに考えて頂くとそれが余計高齢になればなるほど角度がきつくなるので、事務局の説明の通りさいたま市の場合は平均年齢がちょっとずつ上がっているというご説明がありましたよね、そこが要因と、やはり高額な薬代というのが要因としてあるのかなと思います。</p> <p>はい、他にございますでしょうか。</p>
田中委員：	<p>2つほど伺いたいと思いますが、まずは8ページの決算見込額(歳入)のところなんですけど、②の国庫支出金のところが半減しているようなのですがその理由がわかれば教えてください。</p> <p>あともう1つは、これは14ページになりますが、繰入金金の推移のところ年度末基金残高というのが、平成29年度と令和3年度を比較すると4分の1ほどに減っています。今後、漸減するかと思えますけど事務局として基金の残高がどれくらいまでもつと見込んでらっしゃるか教えてください。</p>
柴田会長：	<p>はい、ありがとうございます。では、1つ目からお願いします。</p>
事務局：	<p>まず一点目の8ページの歳入の国庫支出金が、令和2年度に比較すると半分くらいになっているというところですが、こちらは最初に説明しました、新型コロナウイルス感染症の影響により所得減少</p>

	<p>した方への減免を行っているのですが、これを令和2年度から行っておりまして令和2年度はコロナ初年度のため非常に影響が大きかった年なので、コロナ減免の影響が非常に大きく出ております。減免のほうも実際大きく、約6億円減免しています。その中で、国庫支出金と県支出金の二つの中に混ぜ込まれて財政補助が入ってくる形になっております。</p> <p>令和3年度もコロナ減免を行っていますが、ただ減免を決定した額が概ね約2億円くらいです。6億円だったのに2億円くらいになっておりますので、減免すると国から全額補助が入るという形となっており、減免の額が6億円から2億円に減った関係で、国庫支出金は大きく減っております。</p> <p>2点目の14ページの基金の残高の推移ですが、基金は、国保の貯金みたいなものなので、一般会計に頼る前に基金を使いきるということになっておりまして、概ね令和2年度には使い切った状況となっております。ここ最近はどういうものが残っているのかと申しますと、決算剰余金です。令和2年度決算剰余金が約14億円あったので、基金の残高が盛り返したような形に見えますが、令和2年度以降は決算剰余金を翌年度に使う形になるので、実質は基金の残高がないような状態が今後は続いていくと考えています。</p> <p>以上です。</p>
柴田会長：	<p>ありがとうございます。他になにかございますか。</p> <p>それではここで休憩を取らせて頂きます。</p> <p>(休憩)</p>
柴田会長：	<p>それでは時間となりましたので再開します。よろしいでしょうか。それでは続けて収納対策課から説明をお願いします。</p>

事務局：	(事務局 収納対策課 説明)
柴田会長：	<p>事務局の説明に対して、何かご質問はありますか。</p> <p>こここのところ収納率が上向いてきているようでご苦労様でございます。とはいっても、もっと上げてもらわないといけないなど。最初に局長がおっしゃっていた通り、医療費の適正化と収納率、これがあって足りない分を保険料で、ということですので、またもう一段の努力をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、本日の協議報告事項につきましてはこれで終了させていただきます。スムーズな進行のご協力ありがとうございました。</p>